

未来の香川を考え、外国人労働者受け入れ人数の見直しを

在留外国人、聞きなれない言葉かもしれませんが、就労や留学などで日本に中長期（三カ月超）滞在する外国人を指す言葉です。

現在、日本には在留外国人が400万人を超えて増加の一途をたどっています。
四国の総人口をはるかに超えています。

2027年4月に育成就労制度がスタートすれば、さらに急激な在留外国人増加が見込まれています。
また、香川県の在留外国人も2万人を超え増加率では全国でもトップクラスになっています。

二十代の人口では10%を超え中四国地方ではトップです。

人口減少・労働者不足を外国人で補う政策をこのまま続けて、香川県の治安は護れるのでしょうか
経済面でも外国人依存で今後もずっと日本が主導で続けていくことができるでしょうか

文化、習慣が違う方、さまざまな宗教の方、かつて経験したことのない大量な外国人受け入れで
香川県の未来はどのように変化していくのでしょうか

少し想像してみてください。

働きに来た外国人と日本人が幸せに暮らせて調和できるラインは在留外国人5%までと考え、
上限無き受け入れの見直しなどの政策を訴えかけていきます。

また、外国人政策だけではなく香川県が抱えるさまざまな問題にも真剣に取り組み
何事に対しても一所懸命であることを約束して、

地元香川と共に歩み続けます。

香川県の在留外国人は5%までを上限に！

香川県の在留外国人は適切なルールを整えた上で5%までにすべきだと考えます。

明確な議論がされていない、外国人の土地取得や土葬問題に始まり、教育の現場の対応を含め、文化や宗教の違いから起こりうる、生活環境の変化を懸念する声が広がっているからです。

育成就労制度 特定技能2の上限無き受け入れを続けるのではなく、受け入れ国や受け入れ人数に明確な基準を設けて地域に合わせた受け入れ体制を整えていくことが大切と考えます。

少子化をストップ! 子育て世代を中心とした未来づくり

20年間の父子家庭で学んだ経験をいかし、子育てしやすい香川を本気でつくります。

少子化を外国人受け入れで補うのではなく、若い世代が働きやすく、子育てしやすい環境を整えていくことが重要だと考えています。

お母さんが出産や子育ての時期に無理して働かなくて済むように支援制度の導入を目指します。

マイホームが持てる県として政策を打ち出しUターン・ターンの世代が香川で暮らしやすくなる支援を行います。

また、高齢者を支える地域医療の充実や、安心して利用できる介護支援サービスの強化を進め、家族みんなが暮らしやすい香川を目指します。

中小企業の支援策に取り組み 手取りを増やします

地域経済を支える中小企業・個人事業主をしっかりと支援します。

中小企業が従業員に十分な給与が払えるよう、法人税の負担軽減や手取りが増える仕組づくりを進めます。

人手不足には、ITを活用したマッチング制度を導入し、働き手を確保します。

農業・漁業など一次産業の支援を強化し、地域の産業を元気にします。

ITの力で地元の魅力を発信し、新たな雇用を生み出す地域経済を目指します。

ホームページ



X



You Tube



透明性のある
無駄遣いをしない
県政を目指します